

SSKU

No.84

落の会だより

八王子西局

料金別納
郵便

ひのき工房まつり



落の会の各施設の応援を含む参加者全員の集合写真です 11/2

低料第三種郵便

社会福祉法人 落の会

障害福祉サービス事業所

ひのき工房

就労継続支援 (B型)

生活介護

戸吹不燃物処理事業

〒193-0826

八王子市元八王子町2-1839-2

TEL 042(667)2158

FAX 042(667)2168

障害福祉サービス事業所

ふきのとう

生活介護

就労継続支援 (B型)

〒193-0834

八王子市東浅川町625-5

TEL 042(667)4158

FAX 042(667)9489

障害児通所支援事業所
地域生活支援事業所

ころぼっくる

放課後等デイサービス

認定短期・日中一時

〒193-0834

八王子市東浅川町629-1

TEL 042(666)5609

FAX 042(666)5619

障害福祉サービス事業所

ぼぶら八王子

就労継続支援 (A型)

就労継続支援 (B型)

〒192-0001

八王子市戸吹町2104

TEL 042(696)5090

FAX 042(696)5091

ふきのとう トピックス



ころぼっくる トピックス

～今回のトピックスは、ころぼっくるランキングと壁面を彩る造形のご紹介です～

◆良く歌われるカラオケ曲ランキング

<日中一時>



1位・・・となりのトトロ

2位・・・世界にひとつだけの花

3位・・・栄光の架け橋

<放課後デイ>

1位・・・パプリカ

2位・・・ジングルベル

3位・・・勇気100%



◆よく行くお出かけ先ランキング

<日中一時>

1位・・・城山湖

2位・・・多摩御陵

3位・・・桃の里広場



<放課後デイ>

1位・・・殿入中央公園

2位・・・宮ヶ瀬湖畔

3位・・・服部牧場



◆ころぼっくるの壁面を彩る造形たち

<春>



<夏>



<秋>



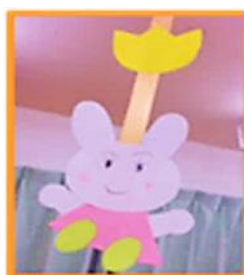
<冬>



<ドラえもん>



<うさぎ>



造形には、個性が大切です。色んな個性が集まる楽しい場所、それがころぼっくる！



<目次>

1. 理事長あいさつ	4
2. 2019年度事業報告と2020年度事業計画	
1) 本部	5～8
2) ふきのとう	9, 10
トピックス	1
3) ころぼっくる	11, 12
トピックス	2
4) ぼふら八王子	13, 14
トピックス	25
5) ひのき工房	15, 16
トピックス	26
6) とぶきふねん	17
トピックス	26
3. 2019年度決算報告	18～20
4. 2020年度予算書	21
5. 後援会だより	22, 23
6. 藤の会への御寄附者名	24

表紙 “ひのき工房祭り” での集合写真です。

裏面 “ふきのとう”と “ひのき工房”で製作した木工製品の紹介

ソーシャルファームについて考えてみましょう！

理事長 岩澤六夫

東京都は、昨年12月「都民の就労の支援に係る施策の推進とソーシャルファームの創設の促進に関する条例」を公布しました。そして今年5月「東京都ソーシャルファームの認証及び支援に関する指針」(案)がパブリックコメント(意見募集)に附されました。

ソーシャルファームとは、都民一人一人が等しく尊重され、その個性と能力に応じ、就労を実現し、誇りと自信を持って活躍することと都、都民、事業者等が相互に理解を深め社会の一員として共に活動しながら支え合うソーシャルインクルージョンの考え方に立って推進されることを基本理念としています。

この基本理念に基づき就労を希望しながらも様々な理由から就労に困難を抱える就労困難者を雇用し、必要なサポートを受けて他の従業員と共に働く社会的企業をソーシャルファームと言います。

ヨーロッパ各国では以前より色々な業種でソーシャルファームが創られ、多くの人に参加しているということで、東京都で初めて条例が作られ、推進されることになりました。

露の会は、今まで障がいのある人たちの雇用に力を入れてきましたが、今後は障がいのある人たちだけでなく、例えばひきこもりで働けなくなった若者や社会的、経済的な理由で就労できていない人たちなどの雇用の場を作ることも社会福祉法人の役割の一つだと考えていますので、障害福祉サービス事業ではないソーシャルファームの新しい事業を検討してみたいと考えています。皆さんの積極的なご意見を待っています。

引き続きコロナ感染予防対策を徹底しましょう！

昨年末に中国で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界各国に拡がり、数百万人に感染し、多数の死者を出し続けています。

日本でも4月から非常事態宣言が出され、不自由な生活を余儀なくされ、経済活動も大きく制約を受け世界中で失業者があふれ、大恐慌が起こり、立ち直るには数年を要するといわれています。

私達露の会の各施設も、ぽぷら八王子以外は通所を60～70%に減らすなど可能な限りの感染予防対策をとり、幸い今までは感染者を出さずにこれました。感染者が少なくなったということで、5月25日緊急事態宣言が解除されましたので、今まで制限され自粛していた外出、食事、娯楽などに出かける人も増え、必然的に感染の危険が増え、今後は第2波、第3波が起こることを恐れています。

職員の皆さん、利用者の皆さん、それぞれのご家族の皆さん、自分達の施設、事業所で感染者を一人も出さないように3密(密閉、密集、密接)を避けるため、出勤、通所以外の外出を出来るだけ避けて下さい。

職員の皆さんは、各施設、事業所ごとに今まで以上に感染防止のために考えられることは何でも実行しましょう！(そのために例えば換気のため窓を開けながら冷房するなど費用が発生しても仕方ありません。施設長会でもより良い予防の取り組みを提案し合い実行しましょう)

2019年度 事業報告

社会福祉法人 露の会 本部

1. スタッフの支援レベル向上のための本部研修を実施。

- ①外部講師派遣として「チームOJT」研修を行い32名参加し、チームとしてOJTをすることの意味について理解を深めました。
- ②重大事故やインシデントを未然に防止するために、特に2つの重大事故については、現場での再現検証も行き、原因の分析、対策、是正を行うとともに各施設への展開も行いました。
 ひのき工房（薪割り機で、右手中指先骨折）
 ぽぷら八王子（自動機作業で、右手小指爪はがし）
- ③施設間の相互交流として、とぶきふねん職員が、ぽぷら八王子の職員会議に参加し、会議運営方法の良いところを取り込むことができました。
 年間を通じて、以下の交流も実施し、相互交流を深めてきました。

第1回	5/14(火)	ぽぷら八王子・リボン見学 ひのき工房、ふきのとう各1名
第2回	7/25(木)	施設間交流会 ひのき工房、ふきのとう各1名
第3回	11/2(土)	・ひのき工房祭りに各施設スタッフ利用者参加 ふきのとう(3名:内職員2名)ころ(2名内職員1名) ふねん(10名:内職員4名)ぽぷら(4名:内職員2名)
第4回	11/16、17	いちょう祭り:ひのき工房4名⇒ふきのとう訪問、 ふきのとう1名⇒ひのき工房訪問

期末手当は、法人研修レポート、施設事業計画への自己評価をもとに支給しました。

2. 主任・リーダー研修

施設長を補佐し、担当部門の事業運営に責任のもてる主任・リーダーを育成するための本部研修については、施設まかせで本部としての研修は出来ませんでした。
 次年度の活動として継続していきます。

3. 労働条件の改善

1) 働き方改革対応

- ①年次有給休暇の年5日以上の取得の義務化に対しては、年休消化の少ない人に5日以上の取得を義務付け、最低5日は、ほぼ消化しました。
- ②月60時間以上の残業の禁止と36協定による上限規制については、全施設、ほぼ実現できました。
- ③同一労働同一賃金に対応した規程を見直し、家族手当を廃止しました。

2) 賃金水準の改善 全施設平均2%の賃金増額を実施しました。

3) 働きやすい職場をつくろう。

いくつかの職場で、相互不信によるギクシャクしたケースがありました。本部への訴えもあり、聴き取りを行いながら対応しました。その中で、報連相の不足を感じ、その後の施設長会や職員会議では報連相の重要性を訴えてきました。

4. 環境整備

- 1) ひのき工房、ふきのとう、ころぼっくるに桜の苗木を植えました。
- 2) ふきのとうが使い勝手の良くない1階和室等の大幅改修を行い、利用者・スタッフにとって有効に使えるようになったと思います。
- 3) ひのき工房では、利用者・スタッフによる植物図鑑作り班が活動を始めました。ホームページを見て感想などご意見下さい。

5. 中長期経営計画に基づく事業計画の実施

- ① ひのき工房別館(子ども食堂として提供)の建設、周辺の排水、フェンス改修。
- ② ふきのとうの施設改修では、昨年を引き続き、1階の和室の改造を実施しました。
- ③ 2015年(H27年)に作成した第一次中長期(H28年～R2)計画が既に4年を経過し、あと1年となりましたが、ころぼっくるの赤字解消ができず、人材育成も含め再度事業計画及び中長期計画の見直しを進めていきます。
- ④ 福祉予算の実質的な削減の流れの中で、利用者のより良い支援を維持しながら、同時に働くスタッフの労働条件を改善していくという困難な課題への対応。

・運営を支える人的要因

チームOJTの理解を深めることが出来、今後、組織的な人材育成に結び付けていきます。

・外部からの支援・援助の活用

きょうされん活動による食事提供体制加算の継続のための請願活動に参加
共同募金会の継続した募金活動で、A配分による送迎車の助成購入(審査中)
清水財団からの軽トラックの助成購入(2020.1決定)

6. 台風・豪雨災害の見舞金をカンパで集めお渡ししました。(金額円 | 人数)

施設名	利用者・御家族		ボランティア・職員他		合計	
とぶきふねん	9,400	9	20,362	9	29,762	18
ぼぶら八王子	20,421	14	12,087	8	32,508	22
ころぼっくる	27,990	6	7,300	9	35,290	15
ひのき工房	3,854	33	21,798	24	25,752	57
ふきのとう	500	1	3,424	10	3,924	11
本部			11,000	2	11,000	2
合計	59,725	63	74,286	62	138,236	125

支援先：高尾青年の家福祉会のG.H. きょうされん自然災害支援基金

7. 法人設立20周年記念行事の準備 2001(H13)年9月

①資料集め

各施設にお願いし、1999年9月10日機関誌No34に遡り、集めることができました。但し、抜けているところもあり資料管理に課題を残しました。

今後、法人の歩みが分かる資料として、データに変換するなどして本部で管理していきます。

- ②事業規模をあらわす過去の会計情報、職員数をグラフ化し、事業の変遷がわかるようにしていきます。

2020年度 法人事業方針

社会福祉法人 露の会 本部

1. 各施設、事業所の指導・支援に力を入れる。

1) ふきのとう

- ① 障害福祉事業収入が利用者定員の決め方でどれだけ違うかなど精査して今後の定員をどうすべきか方向性を出します。
- ② 希望する利用者・家族の意見も参考に聴きながら、収支等全て試算してどんなG.H.にすべきか詳細な検討を進めてもらいます。

2) ころぼっくる

放課後デイ、日中、ショートそれぞれの現状と課題を分析し、可能な事業等含めて赤字解消の具体的な計画を作ります。

3) ひのき工房

- ① 就労支援事業の収入増のため、
 - ・リサイクル事業の有料回収の検討を行います。
 - ・おたすけ隊の定着方策
 - ・産廃事業の新規開拓等指導育成
- ② ソーシャルファームの事業所の新設検討

4) とぶきふねん

受託業務の遂行、安全管理、障がい者支援に責任の取れる管理能力を付け受託業務を増やします。

5) ぼぷら八王子

- ① メンバー支援体制の確立と採用定着のための施設長業務ができるようにします。
- ② そのためにも工場の製造及び生産管理を統括する責任者の育成を行います。

2. 事業検討会と施設長会の充実、強化

5つの施設・事業所の施設長、代理人による本部主催の事業検討会と施設長会を毎月実施していますが、当面する日常課題に時間を取られ法人や施設の基本的な課題の検討が十分に深められない傾向があるので、今年度は、各施設それぞれのメインの課題を提起し、解決の方向性を明確にしながら改革を実現していくことに主眼を置きます。

3. 職員の労働条件の改善

- ① 毎年2%以上の賃金改善をしていますが、まだまだです。今年も改善するために何をすべきか各施設に対して具体的に示していきます。
- ② 国の“働き方改革”については露の会としては大きな課題は終わりましたが、正規・有期フルタイム、有期短時間、障がいのある職員、嘱託職員、それぞれの職務内容、職務権限、勤務条件等が比較できる一覧表を作成します。

4. 職員研修

- 1) 外部講師に来ていただく研修会は好評ですし、今年も続けたいと思います。

又、外部研修会にもテーマを選びながら随時参加してもらいます。

- 2) 前年度の「チームOJT」研修に基づき今年は各施設でいくつかのチームを作り、その中から1チームずつ発表してもらいます。
- 3) 施設長、主任、リーダーの相互交流会と職務遂行能力を付けてもらうための研修会を実施します。

5. 施設環境整備

日常的に環境整備を実施しているのは、まだ1施設だけです。各施設で環境委員が中心になって最低でも年間1つのテーマを決め、他のスタッフの協力を得て実施するよう指導します。

6. 地域貢献

- 1) 去年は台風、集中豪雨により全国各地で大きな被害を受け、無傷だった私達は御見舞の寄附を募り多くの皆さんの協力で、138,236円集まりました。
- 2) 各施設で、備蓄している非常時用の水や食料等の物資を近隣で必要になった時、町会等を通じて贈るなど話し合いをしてもらいたいと思います。
- 3) 子ども食堂は、事務局の一員として続けますが、各施設で地域のサークルなどから施設の利用希望があったら積極的に協力しましょう。

7. 法人設立20周年に向けて

来年(2021年)で、20周年になりますので、何らかの記念行事を行うべく各施設で担当者を決めて準備を行います。

8. 施設運営に重要な各種助成金の申請を確実にいきます。

キャリアアップ(正規、無期転換助成金)、報奨金、障害者雇用安定助成金
特定求職者開発助成金、東京都中小企業障害者雇用支援助成金、障害者雇用支援助成金等
ソーシャルファームの事業を開始する場合、そのための助成金の申請

9. 各施設共通の会計業務の効率化と精度向上にむけて

- ①福社会計独特の会計処理マニュアルの会計担当者への配布と指導
- ②ぽぷら八王子の施設会計の指導育成
- ③八王子市指導監査指摘事項の確実な実施

10. 薮の会、施設ホームページ(hp)によるタイムリーな情報発信

- ①職員の採用情報や後援会活動の情報発信
- ②薮の会便りの作成配布とhp掲載によるhp来訪者への活動アピール
- ③法人の活動や会計の透明性についての情報発信

11. 職員や利用者のパソコンの増加に伴い、情報セキュリティの強化を進めます。

特に、マイナンバー等人事データを扱う本部や利用者の個人情報扱うひのき工房の間のインターネット環境を一元管理していきます。他施設についても、啓発活動を進めていきます。

2019年度 ふきのとう事業報告

ふきのとう施設長 清水 潤児

1. 2019年度総括

今年度も事業運営方針に基づく支援を継続してきました。

①利用者にとっての「社会参加の場」「居場所」「楽しく過ごせる場所」。

この3本柱を守っていくことが、私達ふきのとうの使命としてきました。利用者の意志と笑顔を大事にし、クラブ活動や木工作业以外の仕事など、一人ひとりが自分の強みを発揮できる環境づくりを行いました。

②木工作业では、作業量が大きな負担にならないよう調整しました。まずは利用者の支援が第一優先であります。時間は掛かりますが利用者の作った物にこそ価値があると考えます。

この2つの方針は、ブレずに継続してきました。利用者・家族には法人機関紙で伝え、職員にはミーティングなどで繰り返し伝え理解してもらうよう努めてきましたが、方針が浸透していない部分もあり課題が残りました。

*利用者数(生活介護+就労継続支援B型)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	21	21	20	22	18	19	21	20	20	19	19	21	241
延利用者数	291	288	260	297	238	244	276	248	235	242	253	264	3136

1) 生活支援

家庭の生活に近い支援を目指し、その中で施設ならではの出来ることを提供し、生活の質が向上していくよう皆で支援をしてきました。食事や排泄の支援、バイタル測定、リハビリ訓練、整容などで生活の質を高めてきました。適宜ケース会議を開き利用者の心身の状況変化を把握し、支援の方向性を検討、情報を共有し現場での統一した支援にフィードバックしました。

また、嘱託医の診察、歯科衛生士による口腔機能の指導、健康診断を実施し利用者の健康増進に努めました。

クラブ活動ではハンドベルクラブが毎年恒例の福祉まつり・後援会総会でのライブを開催し観客を盛り上げました。利用者の方々は音楽療法を兼ねての活動にポテンシャルを発揮しています。絵画クラブは、型に捉われず自分の感性を出し作品を作りあげています。料理クラブは食への探求心を大切に楽しい活動を展開しました。他は障害者運動の会等と、就労とはまた違った自己実現にそれぞれ充実していました。

2) 就労支援

各個人に合わせた作業を考えました。今年度は製品の色塗り作業に力を入れ作業の幅を広げ、利用者の強みを見出しました。麻痺があろうと手の可動に制限があろうと、正確に行っていたことなどに新たな発見がありました。

2. 地域との交流

日々の施設周辺の掃除、また十二社の清掃に参加しております。リサイクル回収などでは近隣で協力して下さるご家庭が増えました。近隣の方々とは以上の活動を通じて関係を深めていきました。

3. 研修

- ・法人内研修～「安全に送迎を実施するためには」「人材育成研修」「他事業所見学」
- ・法人外研修～「八王子市の虐待防止研修」「他事業所と交流会」「日中事業所連絡全体会」

2020年度 ふきのとう事業計画

ふきのとう施設長 清水 潤児

1. 事業運営方針

- (1) 薮の会の理念に基づき、利用者の社会参加の場としての役割を大切にし、安心して楽しく過ごせる施設であると共に、利用者が主体的に活動できる体制を整えます。
- (2) 生活と仕事のバランスを考慮しながら、利用者の心身状態を第一に考え、一人ひとりに見合った生産活動をしていきます。利用者が作った物にこそ価値があります。
- (3) 職員の資質向上の為、法人内外の研修に参加します。ADL(日常生活動作)向上ができる施設環境を目指します。利用者を取り巻く環境をソフトとハードの両面から整えます。
- (4) 地域に開かれた施設をつくっていきます。

2. 事業内容

- (1) 生活支援
 - ・安全に美味しく食事が摂れる支援
 - ・個々に合わせた排泄の支援
 - ・気候や室内環境に合わせた衣服調整、水分補給
 - ・相談支援
- (2) 健康管理

医師、歯科衛生士の指導を日々の生活介護に活かしていきます。
- (3) 包括的支援

日々のモニタリング、アセスメント、支援会議を繰り返し、利用者の支援の方向性を決め職員間で共有しています。また、家族や他職種、他事業所などと連携してチームとして利用者の課題を克服していきます。
- (4) クラブ活動・行事

クラブ活動・行事は利用者主体で行っていきます。ハンドベルクラブ、絵画クラブ活動ではセラピー効果を兼ね、心身機能の向上を目指していきます。
- (5) 就労支援

木工作业では、それぞれ利用者の強みを活かした作業を見出し、個々に合った自助具を開発・作成していきます。利用者による木工製品の販売をサポートし自分達で作成した製品を売った喜びを大切にします。出店の機会を増やし、社会との関りを持ちます。

3. 衛生・環境整備

手洗い・うがい・マスク着用を励行し、換気、物品の消毒をこまめに行ない、感染予防に努めます。

施設内の整理整頓を常に行い、作業の安全と効率化に努めます。

2019年度 ころぼっくる 事業報告

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

<2019年度総括>

- ・2019年度は、働き方改革の推進に伴い、変形労働制の導入、開所日の変更と利用者の方々には御協力していただき、職員の労働環境を改善することができました。放課後デイは週5日開所とする中で、基本、同じ職員が毎日、利用者の顔を見ることで日々の変化への気づきに早くなり、対応がよりスピーディーになりました。また、放課後デイにおいては、支援学校から支援学級、学年は小1から高校3年生までと受け入れ幅はありますが、上の子が下の子を支えるといった場面、下の子は上の子の姿を真似て学んでいく場面と異年齢で生活するからこそその良さがよく見えた1年でもありました。
- ・日中一時支援、認定短期入所は、各々の利用者がころぼっくるで行いたいことができる居場所を保障しつつ、定期的に利用され曜日ごとに会う顔ぶれが一緒になります。利用者の嗜好や強みを活かした環境設定をする中、利用者自身の楽しさと居場所が両立したものとなっていました。
- ・職員教育においては、法人内研修、施設外研修により新たな見識を学び、施設内では、消防訓練、虐待防止研修等を実施してきました。様々な研修を通す中でそれぞれが自らの振り返りに多く繋げることができた研修となりました。
- ・関係機関の連携については、利用者の状況を家庭支援センター、支援学校、支援学級、作業所と共有し、制度上に関わる事柄については、八王子障害者団体連絡協議会と連携し、八王子市福祉課に現場の状況等を伝えていきました。

<2019年度実績>

① 放課後等デイサービス

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	217	214	213	217	169	155	158	155	130	128	121	122	1,999
人数	31	30	30	30	30	30	28	27	27	27	27	27	344

② 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする) 月当たりの支給量5日/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	35	42	41	41	29	27	40	28	24	28	32	36	403
人数	13	16	15	16	10	12	14	11	10	11	12	14	154

③ 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象) 月当たり支給量56時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間	302	286	261	294	279	230	256	237	214	236	246	175	3,016
回数	86	81	75	84	75	66	76	67	60	68	69	54	861
人数	25	24	21	24	18	16	21	18	19	17	17	13	233

2020年度 ころぼっくる 事業計画

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

事業所名	ころぼっくる
事業名	障害児通所支援事業 (1) 放課後等デイサービス 地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業
職員数	施設長(1) 常勤職員(1) 非常勤職員(14)

1. 事業内容・事業目的

障害児通所支援事業

- ・放課後等デイサービス (八王子市在住の方を対象とする)
1人ひとりの個性と集団で育まれる生活力を大事にし、継続性による変化を大切に捉え、ライフステージに必要な活動を取り入れ、様々な体験を通して、個々の感性を育むことを目的とする。

地域生活支援事業

- ・認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする)
- ・日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象とする)
障害児(者)の日中活動及び宿泊の場を確保し、日常的に介助している家族の就労支援及び一時的な休息時間の確保を目的とする。及び障害児(者)の緊急一時保護を目的とする。

2. 事業運営方針

障害のある方が、住み慣れた地域でいきがいをもち、自分らしく生きることを確立できるように支援する。

- (1) 利用者とその家族が安心して利用できる環境を作る。
- (2) 利用中、一人ひとりの持つ能力を活かした生活ができるように支援する。
- (3) 地域の人たちと交流の機会を持ち、相互理解の場を持つ。

3. 具体的な取り組み

2020年度も、これまでの事業継続とともに、関係機関との連携を強化し、よりよい支援に向け内外の研修を通して、信頼と安心のサービス向上に取り組みます。

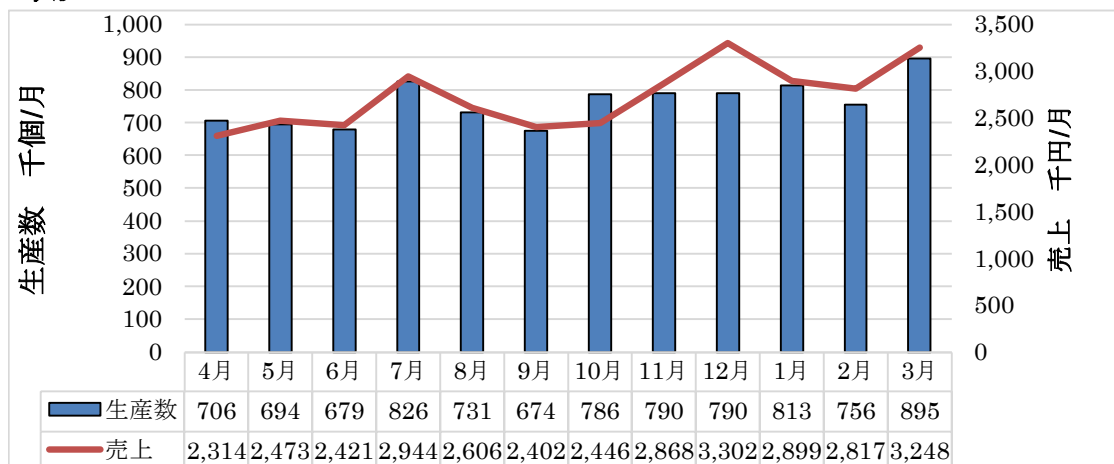
- ① 「利用者とその家族支援」
- ② 「関係機関との連携」
- ③ 「より質の高い職員集団を目指す」
- ④ 「地域との連携及び交流の継続」
- ⑤ 「環境衛生及び整備の徹底」
- ⑥ 「定期的な防災訓練の実施」

2019年度 ぽぷら八王子 事業報告

ぽぷら八王子施設長 木原 法子

- ①初めに今年度の大きな反省点は、労災を出してしまった事です。開設以来続いていた災害ゼロの記録は0からのスタートになりました。10月、メンバーが自動機のプッシャーに指を挟み、爪が剥がれるケガをしてしまいました。一つ事故が起きると続くもので、11月には交通事故が2件（後方車両に追突される事故と交差点で右折車を避けようとしてバイクで転倒事故）、そして1月には労災となる事故を起こしてしまいました。この事故はヒートシール機の調整の際に起きました。スタッフは機械が停止しているものと思い込み、側材の角融着機に手を入れてしまいました。機械は停止しておらず、熱刃が動き出し、左手の甲に3cm幅の火傷を負ってしまいました。これらの事故に関して、二度とないように対策を行いました。また、エフピコ様からも事故が起きない為の確認装置を取り付けてもらいました。
- ④ 2019年度は新しいメンバーが4名も増え、A型9名、B型8名になり、新しい風が期待できる年になりました。また、2017年に特別支援学校を卒業してすぐにB型として利用を開始したメンバーが2019年4月からA型に移行することができました。移行するために、少しずつ時間を伸ばし、検品を中心に作業をしました。休むことのないメンバーですが、高校を卒業したばかりということもあり、ルールを守ることや挨拶をすること、確認をすることの大切さを身に付けて貰うよう支援しました。この一年で随分成長が見られました。メンバーの構成は知的障害者中心ですが、精神障害者も何名か在籍しています。利用開始から、さほど休むことなく、リーダーもお願いしているメンバーが夏休みを境に精神的な不安を抱えてしまい、出勤出来なくなる状況があり、それが現在も続いています。また、今年度入った2名のA型のメンバーも精神面からの体調不良であったり、一人暮らしを始めたことで生活のリズムが崩れてしまったりで、休むことが多くなり、支援の難しさを感じた1年でした。
- ③生産管理の面では、分からないことはエフピコ愛パック（株）茨城工場の堀工場長に確認することができるようになりました。エフピコのS C M等の部署とのやり取りも、ぽぷら八王子がやり易いように間に入って頂けるようになり、生産を進めていく上では今までよりやり易くなったと感じる一年でした。

生産状況



2020年度 ぽぷら八王子 事業計画

ぽぷら八王子施設長 木原 法子

1 生産目標 1日 39,000個 月目標 780,000個 クレームゼロを目指します。

検品、包装、梱包、ケース作り、側材・内装補充、手動機での製造等の仕事を担当するのは、メンバーで、スタッフはメンバーが安心して仕事に取り組めるように機械の調子を整え、サポートしていくことが今年度も大切になります。

2 良品効率 99%を目指します。

(株)エフピコ様の信頼を得るためには、良品効率をよくすることが必要になります。目標の99%は難しい数字のようですが、不良品の数は少なくなっています。しかし、まだまだ安定した数字を続けて出すことができていません。それにはスタッフの型替え・調整能力と頻繁な品質チェック体制をより高めていく必要があります。

3 メンバー支援

ぽぷら八王子は、障がいのある人たちの就労系の事業を行う事業所として、(株)エフピコ様から委託を頂いたものであります。そのため、支援としては、障がいのあるメンバーが「安全で、安心して、気持ちよく、意欲的に働き続けることができる職場」を確立していくことが最大の課題となります。今年度も職員会議・支援会議を毎週一回行い、引き続きスタッフの力量をあげて、メンバーがぽぷら八王子で毎日休まず仕事をつづけられるように、支援できる力をつけていきたいと考えています。さらには、月一回のフロアホッケーの練習や、年3回の試合参加はメンバー中心のチーム作りをし、練習も自分たちでメニューをつくっていくようにサポートしていきます。

4 地域とのつながり

戸吹町町会のお祭りや清掃活動に参加し、地域の方との繋がりを深める年度とします。更に、戸吹町にある障害をもつ人達の事業所との連携も模索していきたいと思えます。

<安全衛生と健康管理> 災害ゼロを目指します。

今年度もスタッフ、メンバーはヒヤリハット報告を行って、災害に対して意識付けをしていきます。危険に対しても各自が少しでも予測できるように考える習慣を身に付ける危険予知とレーニングも行っていきます。また、安全衛生会議を月一回行い、スタッフが安全パトロール結果を報告し、他工場・他施設での災害報告も受けながら、一人ひとりが安全や衛生について常に考えていくようにし、「安全で、安心して、気持ちよく、意欲的に働き続けることができる職場」を確立していきます。

健康管理としては年一回の健康診断の実施とインフルエンザの時期には、全員に予防接種を行います。特にコロナウイルスが終息するまで特に注意し、更にインフルエンザやノロウイルスが流行する時期には、メンバー向けに予防のための勉強会を毎月実施していき、予防に努めていきます。

<防災対策>

消防計画に基づき、年2回以上の避難訓練・防災訓練を実施します。昨年度は物流センターとの合同での避難訓練に参加しました。また、消火器訓練も行います。関東地域の大地震等災害時の連絡方法・避難場所を家族等に確実に伝わるよう整備していきます。

<職員研修等>

年間の法人職員研修に積極的に参加します。昨年の「チームOJT」の研修会で学んだことを基本に法人全体で進める「チームOJT」をぽぷら八王子でも実施し発表していきます。また、外部研修への参加を企画し、職員の資質向上をめざします。研修を通し、ぽぷら八王子で毎日仕事を行っていく上で必要な支援を行える職員の育成を目指します。

2019年度 ひのき工房 事業報告

ひのき工房施設長 関 裕子

【2019年度の成果】

1. 厳しい経済社会情勢の中、利用者さんもそれぞれの担当事業で頑張りました！

1) 生産活動年間売上 1, 617万円

前年度からの古紙相場暴落、水害によるイベント中止、2月から新型コロナウイルス感染拡大の影響も受け、前年度の売上を大幅に下回った。(前年度比 約200万円減)

木工	リサイクル	霊園清掃	薪割	お菓子	農園	切手等	その他
327万円	335万円	533万円	147万円	127万円	31万円	31万円	86万円

2) 11年間の生産活動年間売上推移 (万円)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	2019
584	891	837	832	877	1,023	1,222	1,506	1,723	1,818	1,617

- 3) 就労B：利用者平均月額工賃(週1日以上通所の方、含ボーナス) 25,000円
- 4) リサイクル：古紙相場の下落が止まらず、年間売上は前年度売上の6割にとどまった。顧客先にアンケートを取り、有料回収切り替えに理解をいただき実施することとした。
- 5) 木工：拓殖大学・株式会社LDF(レーザー加工)と「産学・福学連携」で木工品製作を行い、学生デザインのオリジナル木工品が数多く仕上がり、学生と利用者さんの交流を深めた。
- 6) 霊園清掃：利用者・職員が協力し合い、効率よく安全に実施でき、クレームゼロを達成。
- 7) 薪割：11月に利用者さんの指先骨折、1月に職員の指創傷事故を発生。事故の原因を明確にすると共に対策を取り、「指差し呼称確認」、「レバー操作時に木材に直接さわらない」等を徹底した。
- 8) お菓子作り：オンガタマルシェ、南大沢アースフェス等新規イベントに積極的に参加、6月に高尾駅の一言堂店に委託実現、順調に売上を伸ばした。自家農園野菜入りのパウンドケーキ・クッキー好評。
- 9) 生活介護：パソコン作業は、「ひのき工房便り」の写真選別・加工、記事、給食メニュー表、月間カレンダー、送迎運行記録表も利用者さん中心で作成、ゴルフボール磨き新規作業にチャレンジ。
- 10) 創作活動では、今年も利用者さんの活躍がみられた。今井隆さんの絵画「幻想的なパラリンピック」が第34回東京都障害者総合美術展で優秀賞を受賞、さらにその絵が2020年ろうきんカレンダーに採用された。また、本宮政吾さんの絵画「ムーンライト」は、第34回八王子市障害者文化展で社会福祉協議会会長賞を受賞。
- 11) 後援会総会でふきのとうハンドベルとひのき手話コーラスは「星に願いを」で念願の初コラボ。
- 12) 台風による豪雨災害支援募金(25,752円)、赤い羽根街頭募金(80,090円)を実施。
- 13) 前年度より進めていた担当班による「敷地内花木植物図鑑」第1版が完成。

2. 福祉関係機関と連携し個別支援を進めた！

相談支援事業所やグループホーム等と連携し利用者さんの個別支援を進めたことで、本人の自立、成長につながるなど様々な面で良い方向にむかった。

3. 地域交流・地域貢献を進めた！ 第11回ひのき工房祭りを実施！

城山小学校の木工教室、城山中学校の社会科体験実習、小中学校の花壇の草取りに協力。

「子ども食堂」では、調理・受付等で住民の方たちに協力。

4. 職員研修・法人研修に積極的に参加！毎朝夕のミーティング実施で職員「ワンチーム」に！

「チームOJT研修」では、新人職員も先輩職員も共に成長する機会であり、チームとして取り組む大切さを学んだ。「感染症・誤嚥研修」を施設内実施。スタッフチームワークは格段にアップ。

5. 社会福祉法人清水基金様より助成いただき、切望の軽トラック購入！新規事業のおかたづけ隊で活用

2020年度 ひのき工房 事業計画

ひのき工房施設長 関 裕子

1. 事業方針

- 1) 私たちは、障害のある人たちが自分らしく自立し、主体性をもっていきいきと働き、心地よく笑顔で過ごせるよう支援する
- 2) 毎年工賃アップを図り、週3日以上通所の利用者工賃平均月額3万円の実現をめざす(就B)
- 3) この地域で障害のある人もない人も共に手をたずさえて生きていけるように、地元住民・町会・小中学校・福祉施設・病院等との地域交流をさらに進め地域共生社会をめざす
- 4) 子ども食堂、資源回収に協力、地域貢献を進める
- 5) 職員スタッフは、日々の支援が職員相互のチームワークによって成り立つことを自覚し、互いに協力し合い連携し、一致団結した職員スタッフ“ワンチーム”をめざす

2. 生産活動 年間売上目標1,700万円！ やりがいと利用者工賃アップをめざす！

1) 事業別年間売上目標

木工	リサイクル	霊園清掃	薪割	お菓子作り	農園	切手・ボール	その他
312万円	480万円	523万円	120万円	126万円	36万円	30万円	76万円

- 2) 木工：利用者さんと共にアイデアを出し合い新商品開発に取り組む
はちべびギフトの安定生産をめざす。機械室では安全第一で取り組み事故ゼロをめざす
- 3) リサイクル、薪割：利用者・職員が協力し、安全第一で取り組み、事故ゼロをめざす
古紙単価の大幅下落傾向は、今後も続く予想されるため、古紙回収有料化、おかたづけ隊宣伝を進め、さらに産廃収集運搬の許可を取得し、新規事業開拓に力を入れる
利用者の働く力を高め、社会のルールとマナーを学ぶ就労のための訓練の場として活用する
- 4) 霊園清掃作業：作業範囲を分担、協力し効率よく行う。誠実に取組み継続受注に繋げる
- 5) 生活介護室内作業：切手の仕分け・貼付け作業、ゴルフボール磨き作業、パソコン作業、野菜販売、清掃作業等で自分に合う作業を選択。担当等、主体的にできることを増やしていく
- 6) お菓子作り：別館の調理室付作業場での衛生管理の見直しを行い、クレームゼロをめざす
『無添加・体に優しいお菓子』『自家農園・農薬不使用』のコンセプトに合ったお菓子作りを継続
作業工程や業務内容マニュアルを確立し、お菓子作り事業を継続していく基盤作りを行う

3. コロナに打ち勝ち、利用者さんが元気で働けるように個別支援・健康管理の充実をめざす！

- 1) 専従のサービス管理責任者を中心に、グループホーム・相談支援事業所等と連携して個別支援を進める
- 2) 八王子保健生活協同組合城山病院の嘱託医による訪問相談、PTによるリハビリを継続する
- 3) 「うつらない、うつさない」ための新型コロナウイルス感染症対策を徹底し安全確保に取り組む
 - ・朝の検温、手洗い、消毒、マスク着用、換気をしっかり行う
 - ・来客者の検温、名簿記載、業者の宅配、食材の受け渡しは玄関先で行う
 - ・給食方法を見直し、密集を避ける(時間をずらし1回の人数を減らす、テーブル1方向)
 - ・作業場、食堂に飛沫ガードパネルを設置する
 - ・1日3回館内、車内消毒実施(取手、ドアノブ、床等)

4. 感染リスクを減らす新生活様式の中で楽しみを見つける！創作活動・行事・レクリエーション等

- 1) 絵画、イラスト、彫刻等の作品展など積極的に応募し、発表の機会を増やす
- 2) コロナが落ち着いたら利用者の皆さんが楽しめる行事・レクを検討し行っていく
(ゲーム会・花火会・公園散策・クリスマス会等)

2019年度 とぶきふねん 事業計画

現場代理人 東 直子

<2019年度総括>

- ① 労働災害0件(2018年度労働災害2件)、コロナ感染者をゼロ達成しました。
- ② 昨年度、人間関係でギクシャクする様な場面があったため、「リーダー会議」「職員会議」「メンバーミーティング」を行い、問題点を話し合い良好な関係を築いていったことで落ち着きが生まれ労働災害0件にも繋がりました。
- ③ 良好な関係を築けましたが、それによって作業等に緩みが発生し、選別の質の低下により搬出先の業者からのクレームを受けてしまいました。この問題に対して「全体会議」を行い、問題点を全員で意見を出し合い、議論し作業方法の改善を行いました。
- ④ 注射針発見時の対応を停止せずに声を掛け合うように変更したことでコミュニケーションの向上にもつながり、処理量の増加にも繋がりました。スプレー缶の処理方法の変更(穴あきスプレー缶分別)、電子タバコの分別を職員、メンバーが協力しスムーズに処理が行えています。又、(株)メタウォーター様との関係を維持できています。
- ⑤ 市からの要請、要望に迅速に対応してきた結果、引き続き一定の評価を維持することが出来ました。
- ⑥ 定年退職を迎えたメンバーの送別会を兼ねた日帰り旅行を初めて実施しました。職員、メンバー共々和気あいあいと終始和やかなムードだったので、今後も継続して行っていきたい。

<2020事業計画>

1.受託業務を質、作業効率共に100%完遂する

- ①「リーダー会議」「職員会議」「メンバーミーティング」を定期的開催し、作業の問題点、作業マニュアルの見直し等、意見を出し合い議論し、全体が一体となって安全作業、作業効率、作業の質の向上に努めていきます。
- ②市の要請に応え、(株)メタウォーター様と「報連相」をより密にし、処理業務を完遂します。
- ③受託金を1円でも上げてもらえるように種々の取組みを行っていきます。

2.労災ゼロ、コロナ感染者ゼロの実現

- ①「安全衛生会議」を職員、メンバーの全員参加で行い、今年度もコロナ感染ゼロを最重要目標として具体的な改善策を話し合います。併せて危険予知レーニング(KYT)等で職員、メンバーの気付きの向上、安全性の向上にも繋げていきます。
- ②避難訓練、防火訓練、健康診断、予防接種を実施。災害等、万が一に備えた訓練と、個々の健康面での対策を実施します。針刺し事故等をなくすために、改善案を八王子市や(株)メタウォーター様に提案し協議を続けていきます。
- ⑤ 職場の5S(整理・整頓・清潔・清掃・安全)の唱和も引き続き朝礼で行っていき、職員、メンバーの意識向上、意思統一を継続します。
- ④火災事故に繋がる可能性のある、電池、ライター等の選別に注意し火災事故の低減を目指します。

3.とぶきふねんで働く皆にとってより良い就労の場を作ろう

障がいのあるメンバーが安全で安心して気持ちよく働けるように以下の取組みを行います。

- ①「報告・連絡・相談」を通して情報の共有化を図り、定期的に親睦会を行います。
- ②メンバーが自ら積極的に発言し、提案し、意欲を持って参加できる職場作りを行います。
- ③職員は、メンバーに対して、親切で、優しく、真心を持って支援していきます。
- ④障がい者の見学や職場体験の場として、いつでも受け入れ出来るように準備していきます。
- ⑤周辺地域の行事に積極的に参加をし、地域社会への交流を大切にしていきます。

2019年度決算報告

資金収支内訳表

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶら八王子	ころぼっくる	合計
事業活動による収支	取入						
	165 就労支援事業収入		84,211,799	1,423,551	32,992,812		118,628,162
	01 木工事業収入		3,277,387	1,259,110			4,536,497
	02 農産品事業収入		313,490				313,490
	03 リサイクル事業収入		3,357,940	84,500			3,442,440
	04 仕入品販売事業収入		619,329	79,941			699,270
	05 生活介護事業収入		313,902				313,902
	06 新割事業収入		1,474,152				1,474,152
	07 不燃物処理事業収入		68,032,350				68,032,350
	08 クッキー販売事業収入		1,276,820				1,276,820
	09 食品容器製造事業収入				32,992,812		32,992,812
	10 その他事業収入		212,485				212,485
	11 霊園清掃事業収入		5,333,944				5,333,944
	166 障害福祉サービス等事業収入	720,000	113,341,435	45,394,882	43,012,148	30,550,416	233,018,681
	01 自立支援給付費収入		89,174,911	40,498,020	28,439,697		158,112,628
	02 障害児施設給付費収入					19,361,080	19,361,080
	03 利用者負担金収入		547,201	129,662	98,450	319,936	1,095,249
05 特定費用収入		2,287,323	237,000	1,286,217	154,300	3,964,840	
06 その他の事業収入	720,000	21,392,000	4,530,000	13,187,784	10,715,100	50,484,884	
172 経常経費寄附金収入	276,000	44,000	30,000		82,874	432,874	
173 受取利息配当金収入	831	573	144	74	121	1,743	
174 その他の収入	57,893	5,092,315	16,500	727,198	79,700	5,973,606	
事業活動収入計(1)	1,054,724	202,690,122	46,864,877	76,732,232	30,713,111	358,055,066	
支出	121 人件費支出	9,068,504	71,729,971	30,520,987	36,050,720	27,527,133	174,897,315
	122 事業費支出		13,967,362	4,381,751	4,673,276	3,655,488	26,677,877
	123 事務費支出	2,056,013	5,642,139	2,556,292	1,212,508	3,897,514	15,364,466
	124 就労支援事業支出		83,661,598	1,608,393	27,640,809		112,910,800
	01 木工事業支出		4,135,859	1,608,393			5,744,252
	02 農産品事業支出		582,659				582,659
	03 リサイクル事業支出		4,546,413				4,546,413
	04 仕入品販売事業支出		272,419				272,419
	05 生活介護事業支出		400,581				400,581
	06 新割事業支出		1,152,756				1,152,756
	07 不燃物処理事業支出		66,981,541				66,981,541
	08 クッキー販売事業支出		1,377,334				1,377,334
	09 食品容器製造事業支出				27,640,809		27,640,809
	10 その他事業支出		10,560				10,560
	11 霊園清掃事業支出		4,201,476				4,201,476
	128 支払利息支出	97,777	23,709		57,140	6,841	185,467
	129 その他の支出		675,630				675,630
事業活動支出計(2)	11,222,294	175,700,409	39,067,423	69,634,453	35,086,976	330,711,555	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△10,167,570	26,989,713	7,797,454	7,097,779	△4,373,865	27,343,511	
施設整備等	取入						
	176 施設整備等補助金収入		680,000				680,000
	180 その他の施設整備等による収入		106,000		6,000		112,000
	施設整備等収入計(4)		786,000		6,000		792,000
	支出						
131 設備資金借入金元金償還支出	4,901,000	616,000			754,432	6,271,432	
132 固定資産取得支出	499,810	1,700,800	4,195,780		281,600	6,617,990	
施設整備等支出計(5)	5,340,810	2,316,800	4,195,780		1,036,032	12,889,422	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△5,340,810	△1,530,800	△4,195,780	6,000	△1,036,032	△12,097,422	
その他の活動	取入						
	185 積立資産取崩収入		503,000				503,000
	191 サービス区分間長期貸付金回収収入		1,000,000				1,000,000
	193 拠点区分間繰入金収入	10,601,518				3,500,000	14,101,518
	194 サービス区分間繰入金収入	9,558,920					9,558,920
その他の活動収入計(7)	20,160,438	1,503,000			3,500,000	25,163,438	
による収支	支出						
	136 長期運営資金借入金元金償還支出				2,076,000		2,076,000
	139 積立資産支出		7,217,000				7,217,000
	145 サービス区分間長期借入金返済支出	1,000,000					1,000,000
	147 拠点区分間繰入金支出	3,500,000		7,305,518	2,780,000	516,000	14,101,518
148 サービス区分間繰入金支出		9,558,920				9,558,920	
149 その他の活動による支出		425,000	8,000		16,000	449,000	
その他の活動支出計(8)	4,500,000	17,200,920	7,313,518	4,856,000	532,000	34,402,438	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	15,660,438	△15,697,920	△7,313,518	△4,856,000	2,968,000	△9,239,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	152,058	9,760,993	△3,711,844	2,247,779	△2,441,897	6,007,089	
前期末支払資金残高(12)	6,332,792	45,215,794	18,762,589	12,959,682	4,350,310	87,021,167	
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,484,850	54,976,787	15,050,745	14,607,461	1,908,413	93,028,256	

事業活動内訳表

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ほぶら八王子	ころぼっくる	合計		
サービ ス活 動増 減の 部	取	085 就労支援事業収益		84,211,799	1,423,551	32,992,812	118,628,162		
		01 木工事業収益		3,277,387	1,259,110		4,536,497		
		02 農産品事業収益		313,490			313,490		
		03 リサイクル事業収益		3,357,940	84,500		3,442,440		
		04 仕入品販売事業収益		619,329	79,941		699,270		
		05 生活介護事業収益		313,902			313,902		
		06 薪割事業収益		1,474,152			1,474,152		
		07 不燃物処理事業収益		68,032,350			68,032,350		
		08 キューパー販売事業収益		1,276,820			1,276,820		
		09 食品容器製造事業収益				32,992,812	32,992,812		
		10 その他の事業収益		212,485			212,485		
		11 霊園清掃事業収益		5,393,944			5,393,944		
		086 障害福祉サービス等事業収益	720,000	113,341,435	45,394,682	43,012,148	30,550,416	293,018,681	
		01 自立支援給付費収益		89,174,911	40,498,020	28,439,697		158,112,628	
		02 障害児施設給付費収益					19,361,080	19,361,080	
		03 利用者負担金収益		547,201	129,662	98,450	319,936	1,095,249	
		05 特定費用収益		2,287,323	237,000	1,286,217	154,300	3,964,840	
		06 その他の事業収益	720,000	21,392,000	4,530,000	13,187,784	10,715,100	50,484,884	
		091 経常経費寄附金収益	276,000	44,000	30,000		82,874	432,874	
		サービス活動収益計(1)	996,000	197,597,234	46,848,233	76,004,960	30,633,290	352,079,717	
	費	021 人件費	9,068,504	71,729,971	30,520,987	36,050,720	27,527,133	174,897,315	
		022 事業費		13,967,362	4,381,751	4,673,276	3,655,488	26,677,877	
		023 事務費	2,056,013	5,642,139	2,556,292	1,212,508	3,897,514	15,364,466	
024 就労支援事業費用			83,661,598	1,608,393	27,640,809		112,910,800		
		01 木工事業費		4,135,859	1,608,393		5,744,252		
		02 農産品事業費		582,659			582,659		
		03 リサイクル事業費		4,546,413			4,546,413		
		04 仕入品販売事業費		272,419			272,419		
		05 生活介護事業費		400,581			400,581		
		06 薪割事業費		1,152,756			1,152,756		
		07 不燃物処理事業費		66,981,541			66,981,541		
		08 キューパー販売事業費		1,377,334			1,377,334		
		09 食品容器製造事業費				27,640,809	27,640,809		
		10 その他の事業費		10,560			10,560		
		11 霊園清掃事業費		4,201,476			4,201,476		
		028 減価償却費	147,240	9,934,212	2,396,028	614,284	2,650,216	15,741,980	
		029 国庫補助金等特別積立金取崩額		△6,787,244	△1,659,761	△400,000	△1,823,273	△10,670,278	
		サービス活動費用計(2)	11,271,757	178,148,038	39,803,690	69,791,597	35,907,078	334,922,160	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△10,275,757	19,449,196	7,044,543	6,213,363	△5,273,788	17,157,557	
減サ ービ ス活 動外 増		取	094 受取利息配当金収益	831	573	144	74	1,743	
			099 その他のサービス活動外収益	57,893	5,092,315	16,500	727,198	79,700	5,973,606
			サービス活動外収益計(4)	58,724	5,092,888	16,644	727,272	79,821	5,975,349
		費	033 支払利息	97,777	23,709		57,140	6,841	185,467
		038 その他のサービス活動外費用		675,630				675,630	
		サービス活動外費用計(5)	97,777	699,339		57,140	6,841	861,097	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△39,053	4,393,549	16,644	670,132	72,980	5,114,252		
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△10,314,810	23,842,745	7,061,187	6,883,495	△5,200,808	22,271,809		
特別 増 減 の 部	取	100 施設整備等補助金収益		680,000			680,000		
		103 固定資産受贈額	9,069,852				9,069,852		
		105 保険料収益		106,000		6,000	112,000		
		107 拠点区分間繰入金収益	10,601,518			3,500,000	14,101,518		
		108 サービス区分間繰入金収益	9,558,920				9,558,920		
		110 拠点区分間固定資産移管収益		1			1		
		特別収益計(8)	29,230,290	786,001		6,000	3,500,000	33,522,291	
	費	039 基本金組入額	9,069,852					9,069,852	
		041 固定資産売却損・処分損		230,440				230,440	
		042 国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△204,278				△204,278	
		043 国庫補助金等特別積立金積立額		759,000	148,000			907,000	
	047 拠点区分間繰入金費用	3,500,000		7,305,518	2,780,000	516,000	14,101,518		
	048 サービス区分間繰入金費用		9,558,920				9,558,920		
	050 拠点区分間固定資産移管費用			1			1		
	特別費用計(9)	12,569,852	10,344,082	7,453,519	2,780,000	516,000	33,663,453		
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	16,660,438	△9,558,081	△7,453,519	△2,774,000	2,984,000	△14,116,222		
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,345,628	14,284,664	△392,332	4,109,495	△2,216,808	22,130,647		
繰越 差額 の 動 部		前期繰越活動増減差額(12)	14,599,652	55,148,994	30,851,284	9,371,774	13,764,289	123,735,993	
		当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	20,945,280	69,433,658	30,458,952	13,481,269	11,547,481	145,866,640	
		114 その他の積立金取崩額(15)		503,000				503,000	
		053 その他の積立金積立額(16)		7,217,000				7,217,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	20,945,280	62,719,658	30,458,952	13,481,269	11,547,481	139,152,640		

貸借対照表内訳表

(単位:円)

勘定科目	本部	ひのき工房	ふきのとう	ほづら八王子	ころほづくる	合 計
001 流動資産	6,197,504	70,155,522	17,638,368	19,958,430	6,932,733	120,882,557
01 現金預金	5,870,087	46,983,161	9,199,250	11,307,414	3,058,178	76,418,090
03 事業未収金		15,480,456	8,400,655	4,775,638	3,824,035	32,480,784
04 未収金		5,779,905	34,000	3,875,378	52,520	9,741,803
05 未収補助金		1,471,000				1,471,000
15 立替金	157,417	14,000	4,463			175,880
17 前払費用		252,000				252,000
22 短期貸付金	170,000					170,000
26 仮払金		175,000				175,000
002 固定資産	99,667,282	104,670,433	35,058,610	1,023,808	21,985,621	262,405,754
001 基本財産	67,931,081	71,448,251	18,494,716		19,258,156	197,132,204
01 土地	67,931,081					67,931,081
02 建物		71,448,251	18,494,716		19,258,156	109,201,123
002 その他の固定資産	11,736,201	33,222,182	16,563,894	1,023,808	2,727,465	65,273,550
01 土地			10,876,000			10,876,000
04 構築物		1,914,995	3,076,062		2,163,657	7,154,714
05 機械及び装置		1,054,024	2			1,054,026
06 車輛運搬具		3,735,355	2,281,114	1,023,808	281,666	7,321,943
07 工具器具備品	88,201	2,140,808	322,716		258,142	2,809,867
18 退職給付引当資産	11,608,000					11,608,000
19 工賃変動積立資産		2,560,000				2,560,000
20 施設整備等積立資産		18,500,000				18,500,000
22 設備等整備積立資産		3,317,000				3,317,000
23 差入保証金			8,000		24,000	32,000
25 その他の固定資産	40,000					40,000
資産の部合計	105,864,786	174,825,955	52,696,978	20,982,238	28,918,354	383,288,311
011 流動負債	22,440,953	5,478,311	224,971	2,163,097	969	30,308,301
02 事業未払金		79,305	112,167			191,472
03 その他の未払金	2,395,000	1,038,000				3,433,000
06 1年以内返済予定設備資金借入金	432,000	672,000				1,104,000
07 1年以内返済予定長期運営資金借入金				1,350,000		1,350,000
14 未払費用	13,355,998	2,639,343	112,804	579,097		16,687,242
15 預り金		319,663		234,000		553,663
16 職員預り金	5,840,435					5,840,435
17 前受金	417,520	730,000				1,147,520
22 仮受金					969	969
012 固定負債	14,505,000	38,000				14,543,000
01 設備資金借入金	2,897,000	38,000				2,935,000
08 退職給付引当金	9,056,000					9,056,000
09 役員退職慰労引当金	2,552,000					2,552,000
負債の部合計	36,945,953	5,516,311	224,971	2,163,097	969	44,851,301
013 基本金	38,344,852	12,805,770	7,898,325			59,048,947
01 第一号基本金	38,344,852	12,805,770	7,898,325			59,048,947
014 国庫補助金等特別積立金	29,925,000	61,034,792	11,752,078	800,000	12,346,553	115,858,423
015 その他の積立金		24,377,000				24,377,000
01 工賃変動積立金		2,560,000				2,560,000
02 施設整備等積立金		18,500,000				18,500,000
03 設備等整備積立金		3,317,000				3,317,000
016 次期繰越活動増減差額	648,981	71,092,082	32,821,604	18,019,141	16,570,832	139,152,640
02 (うち当期繰越活動増減差額)	△13,950,671	22,657,088	1,970,320	8,647,367	2,806,543	22,130,647
純資産の部合計	68,918,833	169,309,644	52,472,007	18,819,141	28,917,385	338,437,010
負債及び純資産の部合計	105,864,786	174,825,955	52,696,978	20,982,238	28,918,354	383,288,311

落の会だよりに掲載した決算データは、落の会内部の取引も表示しております。

Hp で公開した決算データは、落の会内部の取引を消去した数字となっております。

2020年度予算

資金収支予算内訳表

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶら八王子	ころぼっくる	法人合計
事業活動による収支	収入						
	165 就労支援事業収入		85,678,500	1,850,000	33,977,000		121,505,500
	01 木工事業収入		3,120,000	1,700,000			4,820,000
	02 農産品事業収入		360,000				360,000
	03 リサイクル事業収入		4,800,000	80,000			4,880,000
	04 仕入品販売事業収入		572,000	70,000			642,000
	05 生活介護事業収入		300,000				300,000
	06 薪割事業収入		1,200,000				1,200,000
	07 不燃物処理事業収入		68,656,500				68,656,500
	08 クッキー販売事業収入		1,260,000				1,260,000
	09 食品容器製造事業収入				33,977,000		33,977,000
	10 その他事業収入		180,000				180,000
	11 霊園清掃事業収入		5,230,000				5,230,000
	166 障害福祉サービス等事業収入	12,160,000	106,146,500	41,840,000	38,527,200	27,439,000	225,912,700
	01 自立支援給付費収入		89,500,000	36,500,000	28,792,000		154,792,000
	02 障害児施設給付費収入					18,872,200	18,872,200
	03 利用者負担金収入		350,000	100,000	223,200	314,200	987,400
05 特定費用収入		2,400,000	240,000	1,286,000	150,000	4,076,000	
06 その他の事業収入	12,160,000	13,896,500	4,800,000	8,226,000	8,102,600	47,185,100	
172 経常経費寄附金収入	276,000	62,000	10,000		40,000	388,000	
173 受取利息配当金収入	1,000	420				1,420	
174 その他の収入	70,000	2,290,000	10,000	521,000	80,000	2,971,000	
	事業活動収入計(1)	12,507,000	194,177,420	43,510,000	73,025,200	27,559,000	350,778,620
支出	121 人件費支出	9,018,000	70,834,000	30,879,000	35,230,661	21,270,000	167,231,661
	122 事業費支出		14,828,000	4,790,000	4,137,000	3,425,000	27,180,000
	123 事務費支出	2,791,000	7,940,400	3,065,000	1,242,000	2,574,100	17,612,500
	124 就労支援事業支出		82,420,400	1,750,000	26,920,000		111,090,400
	01 木工事業支出		4,475,000	1,750,000			6,225,000
	02 農産品事業支出		544,000				544,000
	03 リサイクル事業支出		4,417,900				4,417,900
	04 仕入品販売事業支出		306,500				306,500
	05 生活介護事業支出		403,000				403,000
	06 薪割事業支出		1,121,000				1,121,000
	07 不燃物処理事業支出		65,587,000				65,587,000
	08 クッキー販売事業支出		1,407,000				1,407,000
	09 食品容器製造事業支出				26,920,000		26,920,000
	10 その他事業支出		14,000				14,000
	11 霊園清掃事業支出		4,145,000				4,145,000
	128 支払利息支出	72,000	40,000		65,000		177,000
	129 利用者等外給食費支出		600,000				600,000
	事業活動支出計(2)	11,881,000	178,662,800	40,484,000	67,594,661	27,269,100	323,891,561
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	626,000	17,514,620	3,026,000	5,430,539	289,900	26,887,059
施設整備等による	収入						
	176 施設整備等補助金収入		3,000,000				3,000,000
	180 その他の施設整備等による収入				6,000		6,000
			施設整備等収入計(4)		6,000		3,006,000
支出	131 設備資金借入金元金償還支出		672,000				672,000
	132 固定資産取得支出		4,740,000				4,740,000
			施設整備等支出計(5)		5,412,000		5,412,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△2,412,000		6,000		△2,406,000
その他の活動による収支	収入						
	191 サービス区分間長期貸付金回収収入		1,000,000				
	193 拠点区分間繰入金収入	5,567,000				2,000,000	
	194 サービス区分間繰入金収入	9,572,000					
			その他の活動収入計(7)			2,000,000	
	136 長期運営資金借入金元金償還支出				1,350,000		1,350,000
	139 積立資産支出		3,188,000				3,188,000
	145 サービス区分間長期借入金返済支出	1,000,000					
	147 拠点区分間繰入金支出	2,000,000		2,849,000	2,202,000	516,000	
	148 サービス区分間繰入金支出		9,572,000				
149 その他の活動による支出		100,000				100,000	
	その他の活動支出計(8)	3,000,000	12,860,000	2,849,000	3,552,000	516,000	4,638,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	12,139,000	△11,860,000	△2,849,000	△3,552,000	1,484,000	△4,638,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	12,765,000	3,242,620	177,000	1,884,539	1,773,900	19,843,059
	前期末支払資金残高(12)	5,506,230	54,273,754	9,978,291	16,080,711	2,167,324	88,006,310
	当期末支払資金残高(11)+(12)	18,271,230	57,516,374	10,155,291	17,965,250	3,941,224	107,849,369

後援会だより

第18回蕨の会后援会総会は、6月開催予定で進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を招いてはいけないことから開催を断念致しました。

本誌に掲載する事により、会員の皆様には下記の内容をご確認いただき、ご承認いただきます様お願い致します。

- (1) 令和元年度の活動報告
- (2) 令和元年度の決算報告と監査報告
- (3) 令和2年度の役員
- (4) 令和2年度の取組みと予算計画

令和元年度の活動報告

- *施設支援として、全労済団体保険の一部負担をしました。
- *後援会会費増の一環として、施設の支援を得て会費納入者に対して、お礼の返礼を年内に行いました。
- *各施設で開催された行事に参加しました。
特にひのき工房まつりやいちちょう祭りの販売には、役員が積極的に協力しました。
- *蕨の会本部と連携して、後援会活動に努めました。

「蕨の会后援会」令和元年度決算報告		
平成31年4月1日～令和2年3月31日		
科目	収入	摘要
会費	536,000	会員数 88名
繰越金	824,970	
計	1,360,970	
科目	支出	摘要
施設援助費	300,000	全労済掛金 ころぼっくる行事費を含む
振込手数料	16,655	口座徴収料金
会議費	7,358	総会
雑費	2,182	蕨の会だよりの折込ちらし
繰越金	1,034,775	
計	1,360,970	

「蕨の会后援会」令和2年度予算		
令和2年4月1日～令和3年3月31日		
科目	収入予算額	摘要
会費	300,000	会員数 88名
繰越金	1,034,775	
計	1,334,775	
科目	支出	摘要
施設援助費	300,000	全労済掛金 ころぼっくる行事費を含む
振込手数料	30,000	
通信費	10,000	
会議費	20,000	
消耗品費	5,000	
雑費	5,000	
予備費	100,000	
繰越金	864,775	
計	1,334,775	

令和2年度の取組みと予算計画

- *施設支援として、全労済団体保険一部負担をします。
- *各施設で行う行事に参加していきます。
- *後援会の周知活動に努めます。
- *今後の後援会のあり方について、年間を通して施設の皆さんと意見交換をして見直していきます。
- *蕨の会本部及び各施設職員の方々と連携して、活動しやすい後援会に努めます。

多大なご支援ありがとうございます

令和元年度後援会会費を納入して頂き、心から厚く御礼申し上げます。
この会費は「ふきのとう」「ひのき工房」「ころぼっくる」「ぽぶら八王子」の四施設の活動に有効に使わせて頂きます。ご支援いただいた皆様のお名前を掲載させていただきます。

期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日 (敬称略・順不同)

伊藤 博夫	伊藤 要子	磯浦 ひとみ	稲垣 信子
永井 和	遠藤 秀男	岡本 章	下楠 薫 アヤ子
加藤 スミ子	柿下 豊一	柿下 良治	梶島 成治
関口 英子	関口 大輝	岩澤 はやと	玉井 良侍
窪田 幸男	熊谷 弘之	原田 フミ	溝上 裕夫
荒井 盛雄	高橋 攻	高橋 和子	高橋 和昭
高橋 巖	根本 威	佐藤 一輝	佐藤 一平
佐藤 修	佐藤 大介	斎賀 勇	細川 時子
細渕 芳	山口 智	山内 弘樹	山本 武志
市橋 建助	市来 研志	糸魚川 孝一	小関 秀規
小崎 久雄	松垣 百合子	松本 大和	上原 剛
上巳 浩	森藤 徳生	凶師 学	水越 英人
清家 弥十郎	西川 治	青木 勝美	石川 三朗
石脇 フサエ	前田 周三	前島 みち子	曾根崎 和夫
村田 英子	大神田 芳子	大木 啓史	丹野 章子
塚本 享	天野 幸子	田代 紋子	内田 恒男
肥後 伸一	平瀬 武明	北川 ちよ子	北川 尚和
本山 瑞樹	野中 俊昌	平松 廣	関裕子
岩澤 六夫	無記名 (1名)		
株式会社三和設計	喜作 嶋田玲子	一般社団法人やまざくら福祉協会 内田立蔵	
株式会社 愛和セレモニー	株式会社 高尾印刷	株式会社山本工務店代表取締役 山本周広	
有限会社村田石油	有限会社橋本オ ートサービス	有限会社トダソウギョウ代表取締役 戸田敏之	

「露の会 後援会」への会費納入のお願い
年会費 一口 1,000円 1口以上
お振込み先/郵便口座 0150-8-194227
口座加入者 露の会 後援会
(振込用紙が紛失した場合は上記にお願いします)

令和2年度の役員は次の通りです。宜しくお願いします。

会長	山本 武志	副会長	佐藤 悦子
会計	平松 廣	事務局	遠藤 秀男
幹事	木崎 真由美	百崎 道子	依田 圭司
会計監査	前田 和江	大神田 芳子	

御 礼

<台風・豪雨災害の見舞金のカンパ>

地球温暖化による気候変動のため、最近殆ど毎年、全国各地で台風や集中豪雨による大きな災害が発生しております。

去年は地元八王子でも浅川があふれグループホームが被災し住めなくなりまし
た。いつもお世話になっている地元の被害に、露の会の職員、ボランティア、利用
者家族など沢山の皆さんからカンパをいただき、半分をグループホームへの見舞金
に残りを“きょうされん”を通して各地の被災施設へ送らせていただきました。御
協力ありがとうございました。

露の会の各施設は、地元は勿論、全国各地の皆さんから寄附をいただいて成長し
てきました。そのことへの感謝と御礼の気持ちを忘れないため今後も出来るだけ被
災地への見舞カンパを続けていきたいと思えます。

<露の会へご寄付いただいた皆様>

この一年は、私どもから御寄附のお願いは致しませんでした。以下の方々から
暖かい御寄附をいただきました。(敬称略)

ふきのとう	伊藤 保忠、松岡 千晶、秋山 健一
ころぼっくる	谷口 孝子、中山 直美、露の会後援会
ひのき工房	有) 鳶高橋工業、山本 保仁、高橋 和子、荒井 盛雄
	元八王子二丁目町会、岩澤 六夫
露の会本部	遠藤 秀男、中間 達雄、露の会後援会

本当にありがとうございました。

日常におみやげなど物品の御寄附もいただいております。いろいろな形での御
支援に心から感謝申し上げます。

理事長 岩澤 六夫

編集後記 (本部 渡辺)

今回は、経験したことのない新型コロナウイルス対応をしながらの制作となりました。
制限された息苦しさの中でも、利用者皆さんの居場所として、お互いに支え合って活動して
おります。終息がなかなか見えませんが、利用者の皆さんが安心して暮らせるように、活動して
まいりますので、利用者のご家族様、ご支援を頂いている後援会会員の皆様、業務を受託させて
いただいている八王子市様、株式会社エフピコ様、企業の皆様、更には、地域の皆様の引き続
くご支援、ご意見をいただけますようよろしくお願い致します。

次年度の発行の際には、ワクチンも行き渡り安心して暮らせるようになっていることを祈願し
編集後記とさせていただきます。

☆HPにも詳細な資料を掲載しておりますのでご覧ください。

TEL 042-667-2158 FAX 042-667-2168 e-mail fukinokaihonbu@yahoo.co.jp

露の会 HP : <https://fukinokai-swc.jimdofree.com/>

※管理不十分で送付された皆様には誠に申し訳ございません。お詫びいたします。

ぽぷら八王子 トピックス

フロアホッケーとバーベキューと魚つりとさくらんぼ狩り



牧場でのんびり
バーベキュー
2019年は色々
体験しました!



ひのき工房 トピックス



感じたままに伝えたい(作品展)



ミニイベント(節分会)



クリスマス会・2019

～ とぶきふねん ～



いちよう祭り・2019



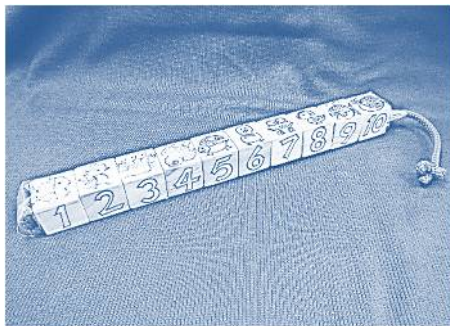
日帰り旅行(山梨)

ひのき工房の木工製品です



マグネット

ふきのとうの木工製品です



発行人 郵便番号一五七〇〇七二
 東京都世田谷区祖師谷三丁目一七二〇二
 障害者団体定期刊行物協会
 社会福祉法人 蒔の会

（会費に含まれます）
 定価一〇〇円